

G I S を活用した被扶養者の健診受診対策

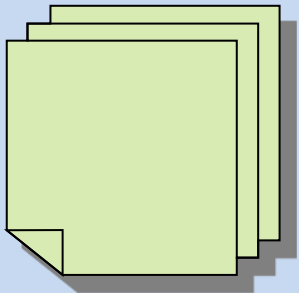
データヘルス計画について①

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）において、「すべての健康保険組合に対し、**レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画としてデータヘルス計画の作成、公表、事業実施、評価などの取り組みを求める。**」ことが掲げられました。

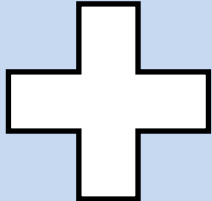
協会けんぽの保有データ

レセプトデータ

平成26年 92%電子化

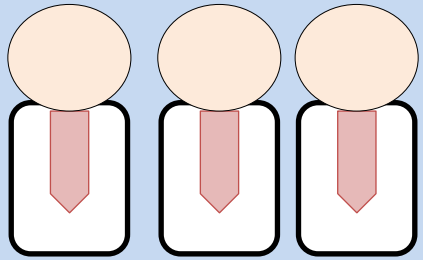


約3,600万人の疾病、医療費に係るデータ



**特定健診
(メタボ健診)結果**

平成20年度より統一データ化

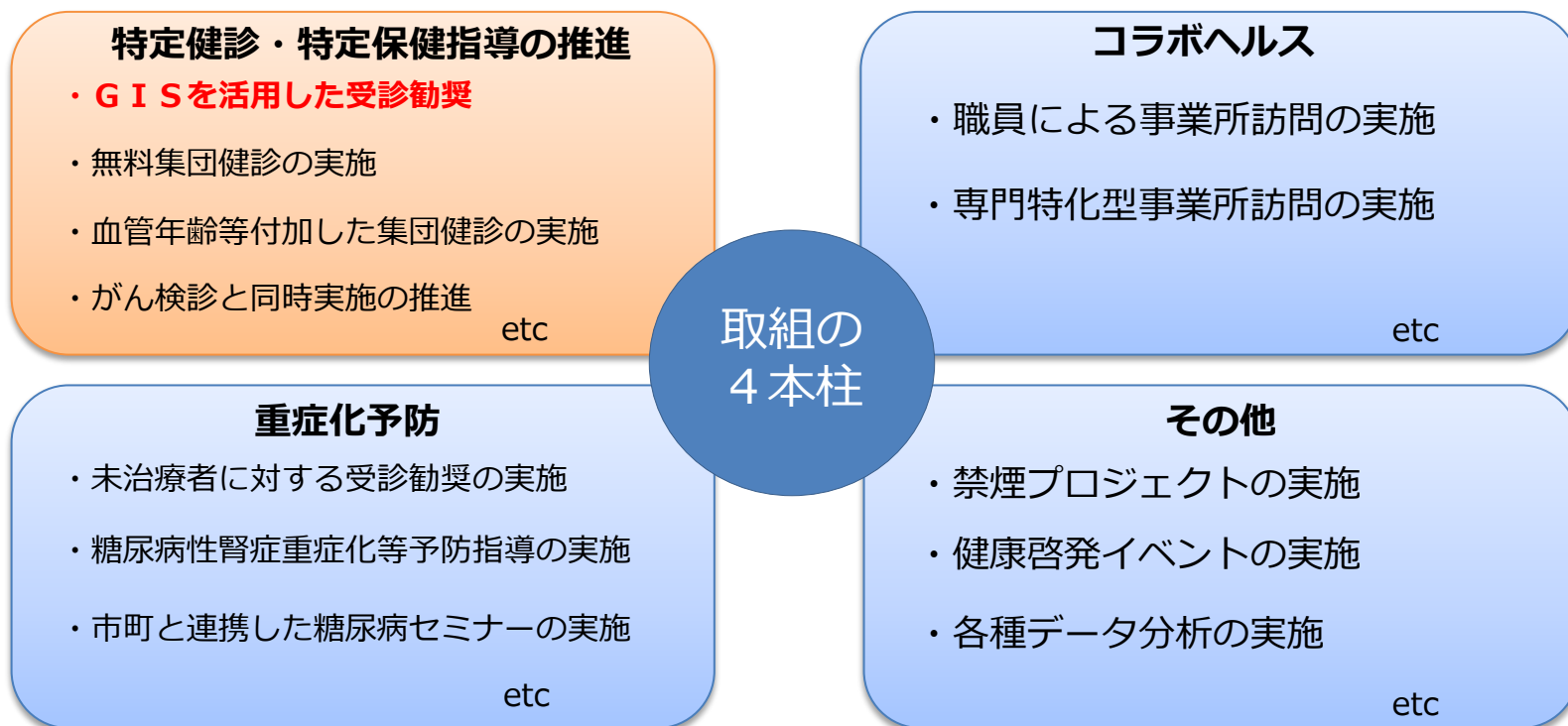
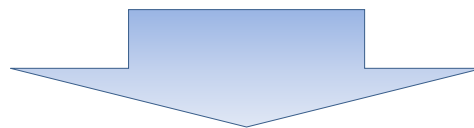


健診受診者の各種検査結果

日本有数のビッグデータを保有

兵庫支部のデータヘルス計画

- **悪性新生物に代表される生活習慣病の医療費適正化のため、特定健診の受診率を向上させる。**
【目標値22.1% 25年度結果プラス1万人】
- 糖尿病性腎症等の重症化予防【介入者の透析移行者0人】
- 喫煙率の低下【生活習慣病予防健診受診者の喫煙率を計画策定時の36.3%から32%にする】



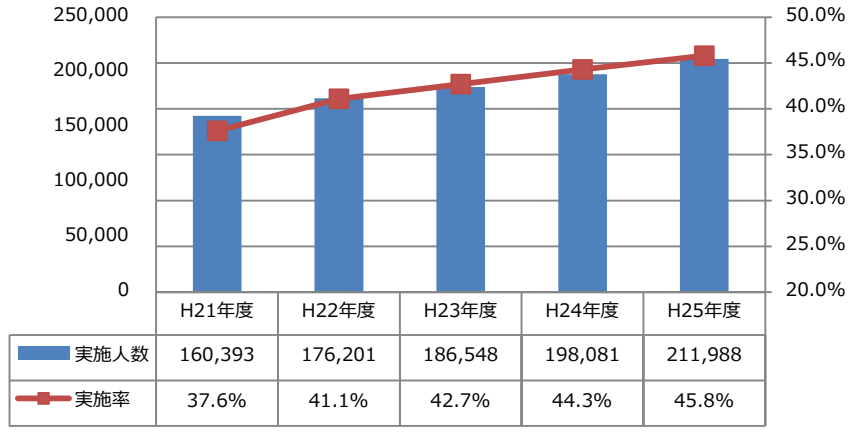
特定健診の受診者数の推移

協会けんぽでは加入者の健康の保持・増進を目的として、県内の健診・医療機関と提携し、被保険者の方は35歳以上、被扶養者の方については40歳以上の方に健診（メタボ健診）を実施しています。また、年度内に一回健診費用の補助も行っています。（注1）

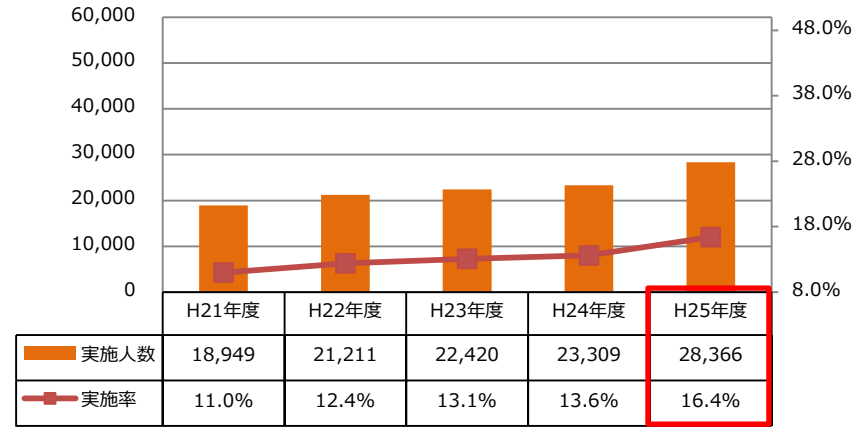


悪性新生物に代表される生活習慣病の医療費適正化には、健診の受診率を向上が急務。

被保険者健診受診率 (注2)



被扶養者の健診受診率



被保険者の受診率と比較し、被扶養者（家族）の健診受診率は16.4%（H25年度）と低い状況。

この状況を打開するために、当支部では被扶養者の健診の受診率向上にGISを導入。

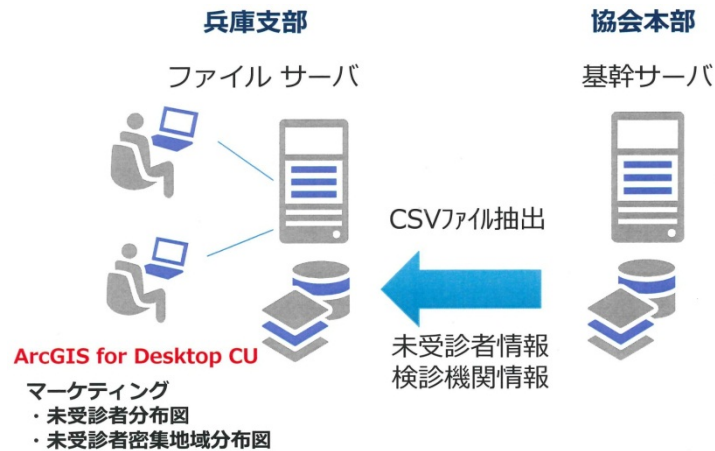
注1: 被保険者と被扶養者の健診については、検査項目・費用がそれぞれ異なります。
 注2: 40歳以上の方の受診率(35歳～39歳は含まず)

導入手法～データの抽出→マッピング～

①データの抽出

本事業に必要な下記の下記のデータを本部サーバーよりCSVファイルにて出力。

- ◆ 健診受診対象者の氏名、住所などの基礎データ (約17万5千名)
- ◆ 契約健診機関の名称、住所データ (2,200件)

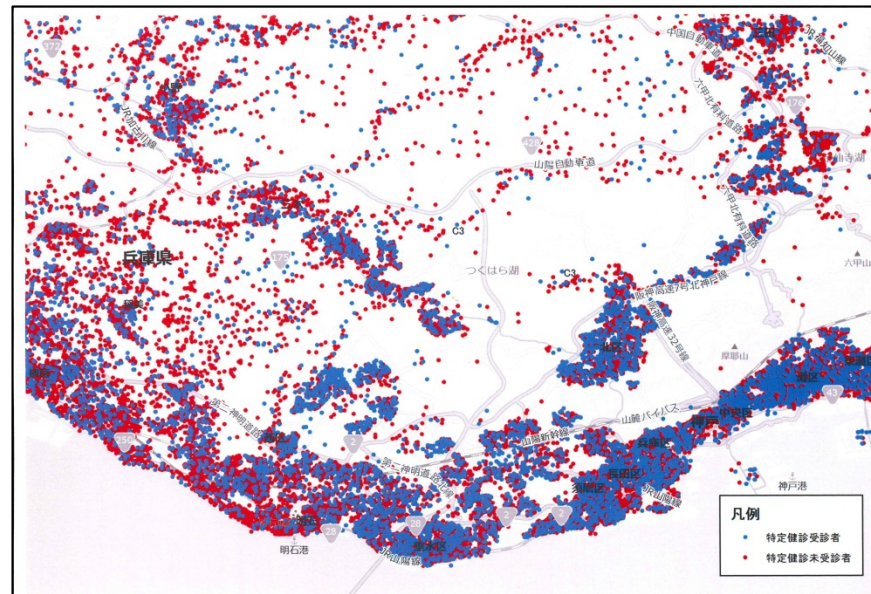


②マッピング

兵庫支部管内の健診受診対象者をArcGISを用いて兵庫県地図データ上に配置

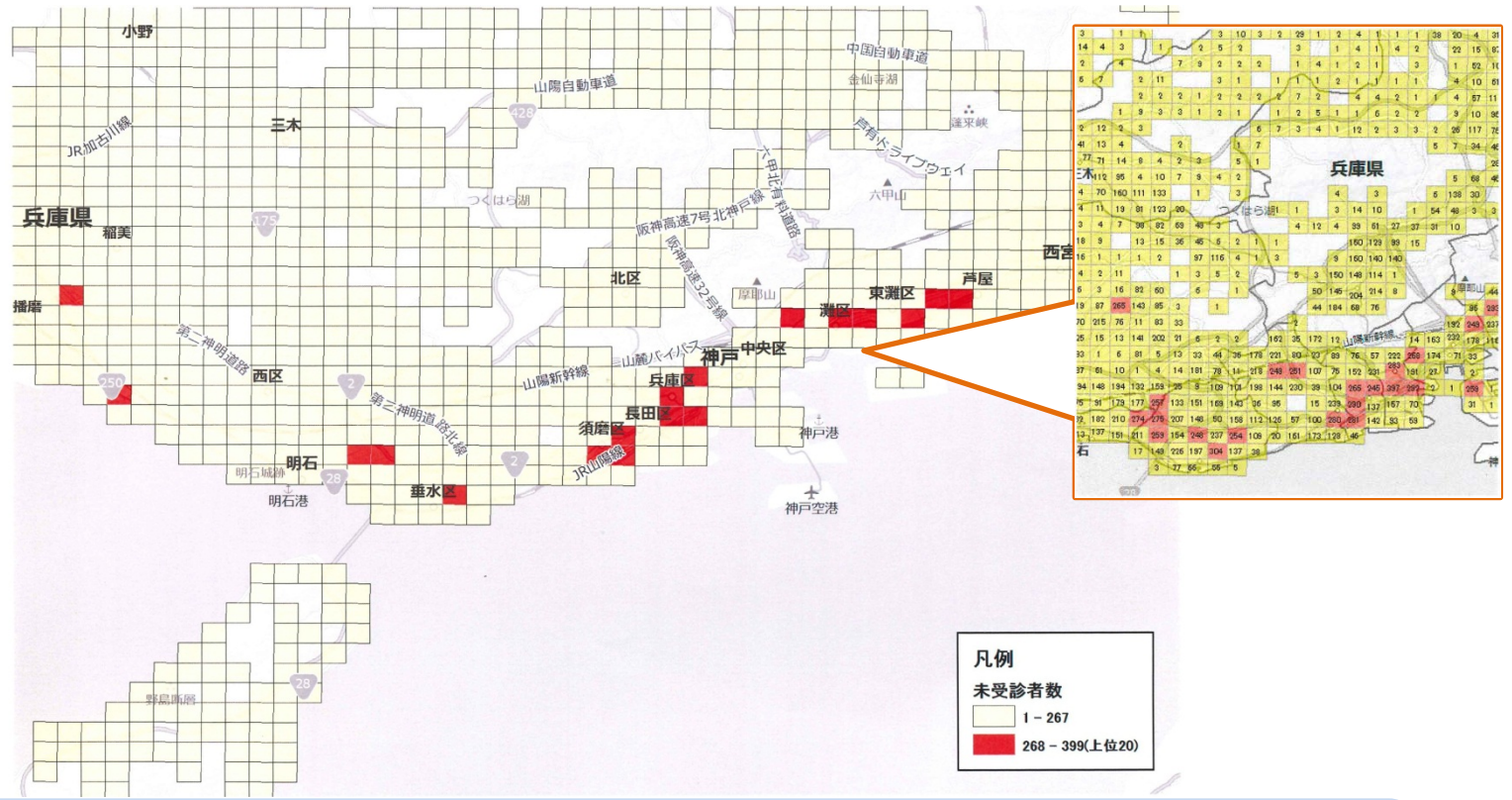


健診受診者および未受診者の県内分布が視覚的に把握可能となった。



③集計

- ArcGISを活用し、兵庫県内を1km×1kmのメッシュに区分
- メッシュ内の未受診者を集計することで、未受診者の密集地域を特定することに成功



- ① 契約健診機関と協議し、上記赤色メッシュ地域で無料健診会場を新たに追加実施
- ② 密集地域近郊に居住する未受診者に対して、「**自宅周辺にて無料健診を実施**」することをダイレクトメールにて通知

送付者からの反響

ダイレクトメール送付直後から多くの反響と問い合わせがあり、送付後の約一か月半で**新たに約4,000件**の健診受診券の発行願いが寄せられた。

会場でのアンケート結果

●追加会場でのアンケート実施

⇒412人（うち3年以上未受診162人）から回答を得た

健診を受診した理由
（複数回答可、総数N=412）

	回答理由	回答数
1位	追加測定があったから ^(注)	251人 (60.9%)
2位	無料だから	182人 (44.2%)
3位	会場が近かったから	159人 (38.8%)

健診を受診した理由
（複数回答可、3年以上未受診N=162）

	回答理由	回答数
1位	会場が近かったから	61人 (37.7%)
2位	無料だから	55人 (34.0%)
3位	追加測定があったから ^(注)	46人 (28.4%)

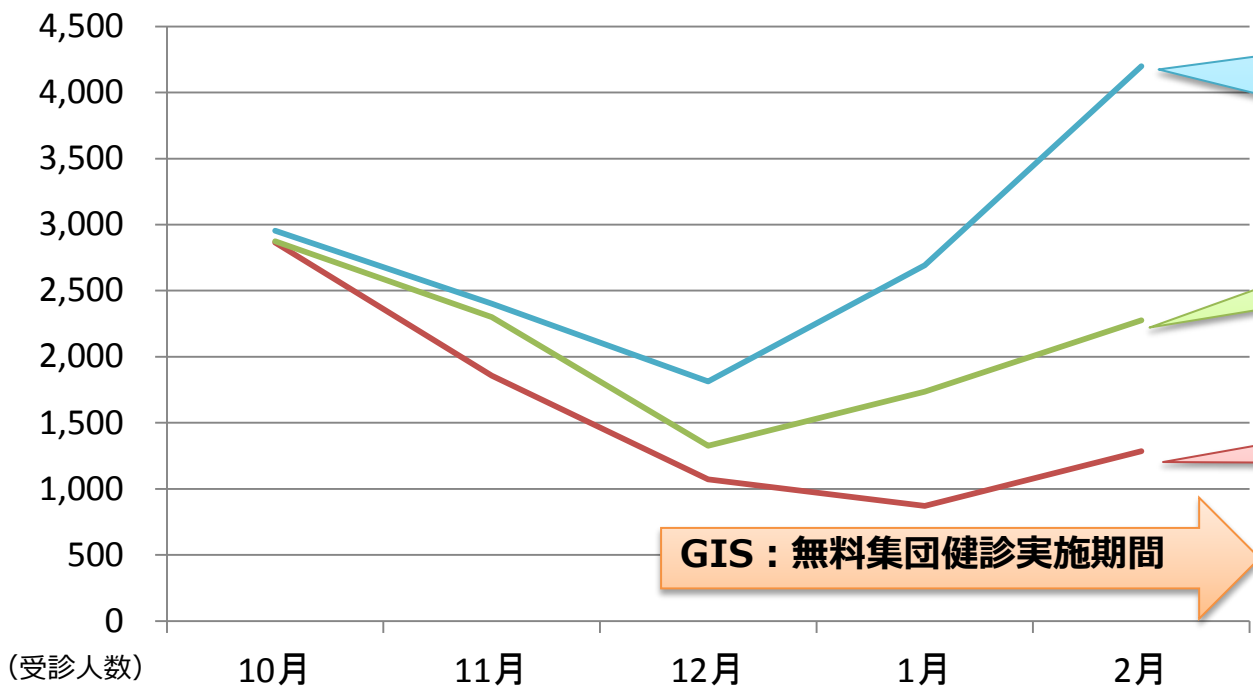
アンケートから無料実施や追加測定^(注)に並び、会場が近いことも受診動機となることがわかった。**特に長期未受診者には会場が近いことが大きな動機づけになることが判明。**

注：追加会場では通常実施していない「血管年齢測定」を特別に実施



●とある健診会場の様子

平成26年度 月別健診受診者数推移



平成26年度
GISを用いた無料集団健診及び最寄り健診機関案内を含む勧奨実施

平成25年度
無料集団健診の一部実施

平成24年度
介入なし

GIS : 無料集団健診実施期間

年度別受診者数推移

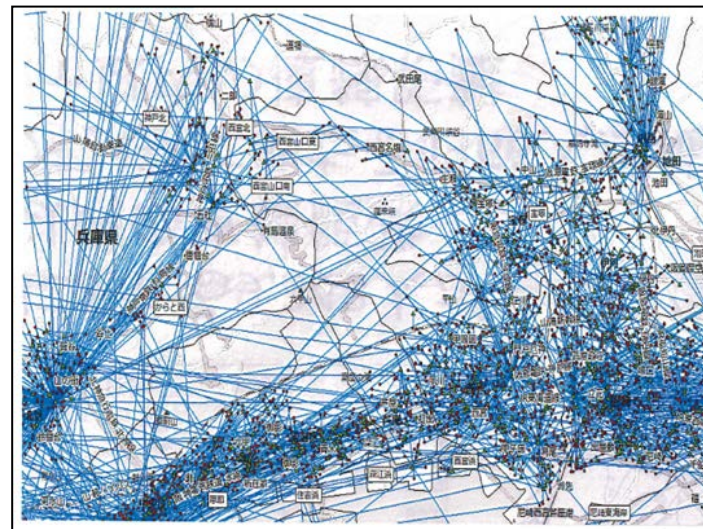
平成24年度	平成25年度	平成26年度
23,309人 (13.6%)	29,393人 (16.9%)	35,495人 (20.1%)

GISを活用した効果的な受診勧奨を実施した結果、25年度から26年度について受診率の支部順位が**36位から18位**と躍進。
(上昇率は**全国3位**)

※受診率全国順位推移
24年度32位→25年度36位→26年度18位

健診受診者の移動距離の集計

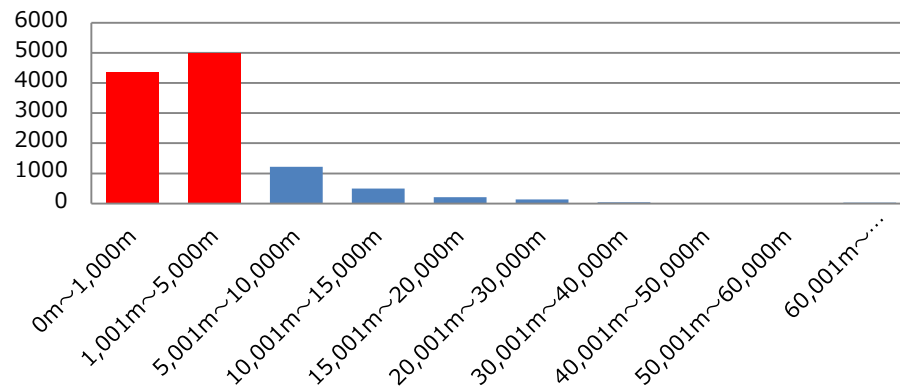
- 健診受診者（1万1,502名）の住所及び実際に受診した健診機関の所在地をArcGISを用いて地図上にプロット
- 受診者と健診機関をArcGISの機能を用いて線で結び、それぞれの直線距離を計算



移動距離の集計結果

移動距離	人数	割合
0m~1,000m	4,366人	38.0%
1,001m~5,000m	4,982人	43.3%
5,001m~10,000m	1,222人	10.6%
10,001m~15,000m	501人	4.4%
15,001m~20,000m	215人	1.9%
20,001m~30,000m	136人	1.2%
30,001m~40,000m	36人	0.3%
40,001m~50,000m	7人	0.1%
50,001m~60,000m	9人	0.1%
60,001m~220,000m	28人	0.2%
合計	11,502人	100%

移動距離別受診者数



■ 全体の8割にあたる9,348人が5km以内で受診し、全体の4割にあたる4,366人が徒歩圏内である1km以内で受診していることが判明。

● **ArcGISを活用することで、健診未受診者に効果的な介入が可能となった**

- 未受診者に対して、自宅近郊の健診会場の情報を提供できた。
- 担当者の経験や勘に頼らず、数的根拠に基づいた健診会場の設定が可能となった。
- 対前年受診率が**3.2%上昇**、受診人数では**約6000名増加**。

● **ArcGISを活用することで、加入者の受診行動が正確に把握可能となった**

- 健診受診者および未受診者の県内分布が視覚的に把握可能となった。
- 健診受診者の多くが自宅近郊の健診機関で受診していることが判明。

今後は加入者の医療費や健康状態の地域特性をArcGISで分析し、
地方自治体と連携した健康増進の各種施策に活用していく予定

ご清聴ありがとうございました

